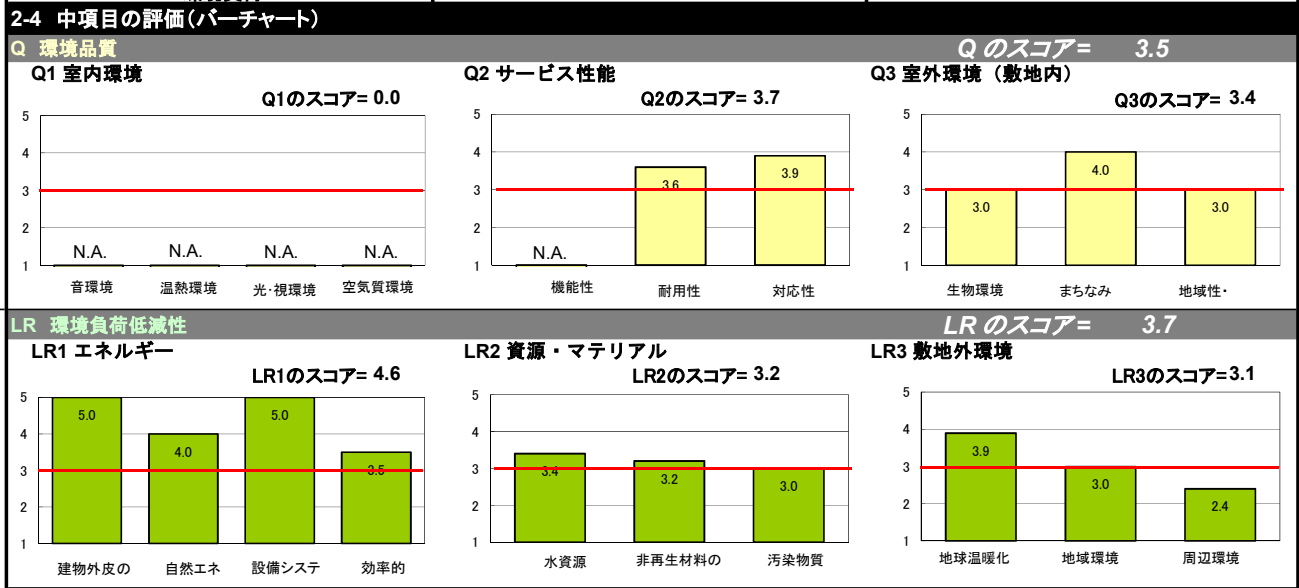
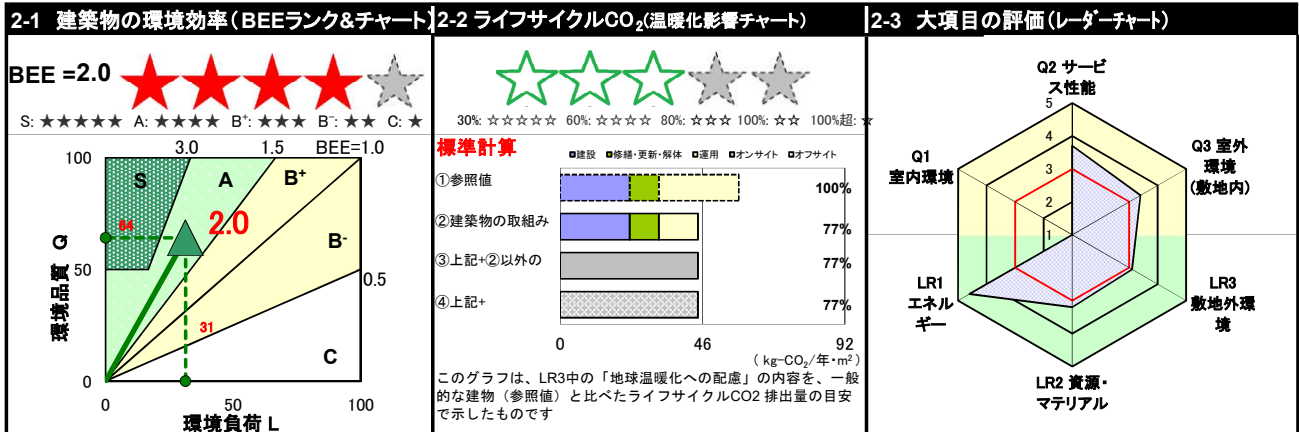


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)座間市物流施設開発計画新築工事	階数	地上4F
建設地	座間市ひばりが丘四丁目5660番地13	構造	RC造
用途地域	法第22条区域、市街化区域、工業地域	平均居住人員	872 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2022年3月11日
敷地面積	60,916 m <sup>2</sup>	作成者	(株)大林組一級建築士事務所
建築面積	34,796 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	134,020 m <sup>2</sup>	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
相鉄線「さがみ野駅」から徒歩11分の準工業地域に、柱RC梁S造の物流倉庫を計画した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・工場用途のため非該当	・免震構造を採用し、建物の揺れを抑える計画とした。 ・地震時に配管が破損し全体機能が停止しない計画とした。 ・給排水設備においては、災害時でも利用できる計画とした。	0
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・自然通風、自然換気が可能な窓を採用し自然エネルギーの利用を行った。 ・BPI <sub>m</sub> =0.75 BEI <sub>m</sub> =0.49 LED照明設備を導入している。	・節水コマに加えて、省水型の機器を採用した。 ・躯体と仕上材が容易に分別可能な計画とした。	・適切な量の駐輪場・駐車場を確保し、荷別き用車両の駐車施設も確保した。渋滞緩和対策は、全車両出入口3箇所のうち2ヶ所をそれぞれ入口専用、出口専用とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される